

授業科目	保育内容 環境				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21613J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2 DP5-2			
担当教員	上村 眞生							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実務家教員として、保育所における環境を通じた保育の展開について講義を行い、アクティブラーニングを通して実践ができるようになる。</li> <li>・乳幼児の「環境」について理解すると共に、5 領域の他の領域との関連から見た「環境」について理解する</li> <li>・保育者の「環境」に係わる知識・技能の獲得は勿論、乳幼児の「環境」についての知識を習得する</li> <li>・保育の環境構成ができる</li> </ul>							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の「環境」に係わる知識・技能の獲得は勿論、乳幼児の「環境」についての知識を習得し、自分の言葉で説明できる</li> <li>・「環境」にねらいをおいた保育が展開できる</li> </ul>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	10	0	50	40	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)					50		50	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10				10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)						30	30	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)						10	10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の「環境」に係わる知識・技能の獲得は勿論、乳幼児の「環境」についての知識を習得し、専門用語を交えて説明できる</li> <li>・「環境」にねらいをおいた保育について、適切な教材選択・作成を行い、保育の展開ができる</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の「環境」に係わる知識・技能の獲得は勿論、乳幼児の「環境」についての知識を習得し、自分の言葉で説明できる</li> <li>・「環境」にねらいをおいた保育が展開できる</li> </ul>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 授業の進行方法・評価方法について説明する			講義		復:グループ形成・分担表作成		60

2	領域「環境」 5領域の中での「環境」の位置づけについて解説する	講義・演習	予: 保育所保育指針の関連部分の確認	30
3	身近な環境 1 保育の中で関わる環境のうち、動物について紹介し、関わり方を考える	講義・演習	予: 身近な動物について、名前・生態・扱い方等を調べておく	60
4	身近な環境 2 保育の中で関わる環境のうち、植物について紹介し、関わり方を考える	講義・演習	予: 身近な植物について、名前・生態・扱い方等を調べておく	60
5	身近な環境 3 保育の中で関わる環境のうち、地域・社会について紹介し、関わり方を考える	講義・演習	予: 身近な地域の文化や伝統、習慣について調べておく	60
6	身近な環境の体験 1 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る	講義・演習	復: 授業時間中に終わらなかった作業を継続して進める	120
7	身近な環境の体験 2 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る	講義・演習	復: 授業時間中に終わらなかった作業を継続して進める	120
8	身近な環境の体験 3 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る	講義・演習	復: 授業時間中に終わらなかった作業を継続して進める	120
9	人的環境としての保育者 保育者の「人的環境」としての在り様について解説し、その重要性を知る	講義・演習	予: 保育所保育指針の関連部分に目を通しておく	30
10	保育実践と保育内容環境【A グループ】 環境問題について発表する	講義・演習	予: 発表の準備 復: 他のグループへの質問	担当回 に 180 分
11	保育実践と保育内容環境【B グループ】 環境問題について発表する	講義・演習	予: 発表の準備 復: 他のグループへの質問	担当回 に 180 分
12	保育実践と保育内容環境【C グループ】 環境問題について発表する	講義・演習	予: 発表の準備 復: 他のグループへの質問	担当回 に 180 分
13	身近な環境の体験 4 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る	講義・演習	復: 授業時間中に終わらなかった作業を継続して進める	120 分
14	身近な環境の体験 5 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る	講義・演習	復: 授業時間中に終わらなかった作業を継続して進める	120 分
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	身近な生活環境(自然・社会・地域等)に関心を持ち、名称や事象についての知識を得ておくことと、積極的に関わろうとする態度が必要			
テキスト	特になし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で適宜指示する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	常に「考える」ことを重視し授業を展開するので、自身の考えを持つこと、その考えを他者に客観的に説明することを習慣化しておくこと			
達成度評価に関するコメント	課題レポートの内容で評価する(10点)。 演習態度、成果物で評価する(40点)。 提出物の内容で評価する(50点)。			

